

## 一番の薬

青森県 北園小学校

5年 太田 愛乃

今、世界中で問題になっている新型コロナウイルス。そんな新型コロナウイルスにも波があり、感染者数が多いときもあれば少ないときもある。

正直いって、友だちとたくさん遊んだりしたいし、なによりマスクを外したいと思うときがある。でも今は、自分の命を守るためには必要だから、がまんしなければならない。

そんな中、私も新型コロナウイルスに感染してしまった時期があった。毎日高い熱が出てだるかった。外に遊びに行きたくても行けなくてとてもつらかった。

そんなとき、私のおばあちゃんは、私の好きな食べ物を買ってきてくれたり、メールを通してやさしい言葉をかけてくれた。そのおかげで、少しずつ元気になり、気持ちも明るくなった。また、私のお母さんはいつもいっしょにいて、支えてくれた。

体力が回復していくにつれ、心も元気になった。そのとき私は、  
(みんなが待っているから、早く元気にならないと。) と思った。

しばらくして、今度はおばあちゃんが新型コロナウイルスに感染してしまった。毎日つらそうだったので、元気のないおばあちゃんのために、私はお弁当を作ることにした。

食よくのないおばあちゃんがどうしたら食べてくれるのか、考えながら作った。卵焼きは、おばあちゃんが喜ぶように、ハートの形にした。おにぎりは、「早く元気になりますように」と気持ちをこめてにぎった。

お弁当をつめるときは、いろいろな具材がいろどりでよく、おいしく見えるように、お母さんに教えてもらいながら作った。そして、できあがったお弁当をおばあちゃんの家玄関のドアノブにかけた。

私のお弁当を喜んで食べてくれたおばあちゃん。「ありがとう」の言葉がうれしかった。毎日電話でやりとりをし、食よくも少しずつもどり、元気になっていくおばあちゃんをうれしく思った。お弁当を作って、本当によかった。

病気にいちばんに効くのは、もちろん薬かもしれない。だけど、相手をはげましたり、気持ちを理解してあげることで、その人の心が楽になると思う。

病気をしないために、感染対策やワクチンは大切ある。また、いちばん効くのは薬だと思う。でも、それ以上に相手のことを考え、気持ちを元気にすることが、何よりの薬だと私は改めて感じた。

思いやりこそが、最高のワクチンである。